

科目名	基礎科目Ⅱ		対象	社会人	単位	※履修証明プログラム	
担当	宮崎 博文	共同担当 教員	由佐悠紀、竹村恵二 齊藤雅樹		開講期	半期	
到達目標					学習成果の到達目標		
①温泉の利活用について幅広く実践的な基礎知識を身につける。					知能	主体性	就業力
②大分県の温泉、特に別府温泉を題材に温泉の自然と文化を学ぶ。					技能	意欲	協働
③温泉県大分の情報発信ができる温泉コンシェルジュをめざす。					○	○	
授業の概要							
講師が配布するテキスト及びパワーポイントスライド資料に基づいて講義を進めます。特に、温泉コンシェルジュとして必要な知識や経験を身につけることを主眼に置きます。地球科学的フィールドワークや温泉分析実習を取り入れながら、知識の習得のみに偏らない総合的な学習を目指します。							
授業内容							
1. 「温泉学」							
①②温泉科学を学ぶ 大分県の温泉を中心に、泉源・泉質の分布状況、温泉生成のメカニズムなど、地球科学的観点から学びます。							
③④別府の地形と地質を学ぶ 別府の地形と地質の特徴及び温泉への影響について地球科学的な観点から学びます。また、別府地域の活断層と地震の関係についても学習し、地震に備える生活の在り方について考えます。							
⑤⑥温泉学フィールド調査及び温泉分析実習・・・実地（フィールドワーク） 亀川温泉の周辺を散策し、地球科学的な面から火山的地形や温泉・地獄などを観察するとともに、温泉水を採取し簡易測定キットを使って水質測定を行い、別府温泉の多様性について理解を深めます。							
⑦⑧別府温泉の魅力、温泉活用法を学ぶ 温泉から見た別府の位置づけと特徴、天然資源としての温泉の活用方法について、近年注目されている機能温泉浴などの多様な入浴様式などの事例を学びます。また、温泉地の振興策として温泉道スタンプラリー、湯けむり発電などの新たな取り組みについても学びます。							
⑨温泉学の概要（まとめ）・・・実地 温泉の諸科学における基本的事項や別府温泉などに関する知見や取り組みについて、これまでの学習成果をもとに意見交換をし、授業のまとめをします。また、理解度を深めるため「温泉マイスター検定」を受験します。							
準備学習 (予習・復習)	各自、温泉や別府観光に関する資料を収集したりファイル化したりすることが必要です。				オフィス アワー	授業の前後に受け付けます	
評価方法 基準	ミニレポートや学習課題への対応(30%)、最終レポート(40%)、の授業中の態度(40%)による総合評価						
テキスト	講師が授業ごとに資料を配付する				備考		
参考資料							